

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	にこ森保育園
施設所在地	東京都青梅市新町4-14-1+6
法人名	株式会社モアスマイルプロジェクト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

昨年度すくわくの補助金で購入した車両を活用し、法人で所有する青梅市塩船の山林に山歩きに出かける。今年度は5歳児クラス12名をA,Bの2グループに分け、少人数グループでの実施を行い、こども発信のテーマを拾い上げられるよう工夫する。

<テーマの設定理由>

自然の中で子どもたちが遊ぶことは、心体の健全な発達を大いに後押ししてくれる事だと考えています。当園では、法人で所有する山林などを活用し、自然の中で子どもが自由に遊ぶことによる「気づき」や、自分たちが自分で考えて遊びを生み出す力などを伸ばしていきたいと思います。また、不整地での運動や歩行をすることで、普段の生活では使うことのないインナーマッスルなども動かし、体の発達にもつなげたい。

2. 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

移動用車両、顕微鏡、図鑑、野菜、照明、水中観察メガネ??野菜、ライフジャケット、
一輪車 ○子供たちの
できるだけ自由な活動範囲を見守る職員の体制について考慮した

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・新年度1回目の計画通り、山歩きをするを行った。
- ・畑に育てている野菜の収穫に行き調理して食べる。
- ・光と水で遊ぶ水遊び（夜）を行い、暗い部屋で灯してスヌーズレンを作った。
 - ・名栗の川で魚を捕まえ、食べて、泳いだ。
 - ・遠足で自然物を使用した制作を行った。
- ・狭山湖湖畔の自然公園の中でアスレチック遊びを行った。
- ・山林での焚き火を行い、畑で育てた芋を焼き芋にした。
 - ・山林での工事現場遊び一輪車遊びを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

○散策中に葉っぱの色の違いや触りごごちの違い形の違いに興味を持った児がいた。2種類の葉っぱの緑の違いを言葉で伝えると他児もいろんな形のいろんな緑の葉を探したり実際に触ってみて「チクチクする!!フワフワする」と言った感触を口にすることが多くあった。またとげが生えている植物には気を付けて!!と一度とげを見つけるとみんなで気を付けて山を歩いていこうと声を掛け合っていた。土の中の穴や動物のフンを見つけ何が済んでいるんだろうと興味を持ったり、食べられる植物だったり丸太の皮をむいたら虫が出てきて触ると毒のあるものだと知ることができ驚いたり実際触れたり食べたりしたらどんな感じなんだろうなどと相応している児もいた。

○歩いている時に発見した木の枝で作られたような家のような空間に興味を持っていた。「誰が入れるかな?もっと大きかったらみんなで入れるね!葉っぱで壁や屋根を作ったら涼しいし虫が入らないかも」などと会話が盛り上がっていた。また木の皮がむけることが楽しくて木の種類によって川の色や形硬さが異なることや、葉っぱの違いにも興味を持っていた。歩きながら地面の硬さや柔らかくすぐに崩れてしまう木とのっても大丈夫なくらい頑丈な木があることを体験しながら知ることを楽しんでいた。ありの行列やたくさん生えているキノコ・小川にも興味を持ちよく観察していた。図鑑を使って葉っぱの種類などを調べたりして楽しむ姿があった。

○川に入水し水遊びと遊泳をしながら、そこにいる魚を観察した。こども達は、魚がどこに潜んでいるのか?どうすればたくさん観察できるかなどを自分たちで考えながら、道具を使用し楽しんでいた。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

○今回発掘できなかった石をまた行った時に発掘したいと張り切っていたのでこういった道具を持っていけば発掘できるか、どんな形をしているのか想像しながら話し合いをし発掘セットを用意していく。

「火のつけ方」に興味があるので焚火のつけ方を知り燃えやすいものは何か山を探索しながら探してみる。火の強さで感じる温かさを体感できるよう強い火・弱い火を体験できるように準備する。火がどうやったら消えるかなども実際体験できるようにする。

木をたたいた時の振動や響きが異なるのはなぜ？と興味を持つ。幹が太い木、細い木・たたくものだとどう変化するのかを探求していく。火をつける際に薪を運ぶときたくさんの薪や葉っぱを運びたい児がいて手だけでは足りないと感じた児がいたことからよりたくさんの物が運べるような物があつたらいいと意見が出た。そこで一輪車の購入を検討 ○山探索をしている際に大きな木を運びたがったりたくさんの物を一か所に一度で持っていきたい児がいて園にある一輪車が使えらということに気付いた児がいたので次回は持っていくようにしようと思う。また、園庭のなだらかな道と凸凹した道では一輪車がどう動くのかの経験をしたことがないのでそういった体験をし使い方新たな発見ができたらいいと感じた。顕微鏡ではどのくらいの大きさまで小さく見えているのかの感覚がなくなんだこれは？といった感じだった。顕微鏡で見るもので発見が多くできそうなものをいくつか提案してあげることも大事かもしれないと感じた。また、雪の結晶これでも見れるかな？といった会話もあったので興味関心を持ったものに関してはどんどん探求をしていけるよう促していこうと思う。